

交付対象事業の名称	事業概要	K P I				R1年度の主な取組とK P I への影響	今後の方針	事務局評価
		指標	単位	R1目標	R1結果(見込)			
「農」あるシルバーは地域を救う！若者と共に農業で大活躍プロジェクト	農業に必要な知識・技術を習得する場としてシルバー人材センターが整備した「農の拠点」で、高齢者でも低負担で耕作でき、高品質で一定の収穫量を維持できるアイメック農法によるミニトマトの栽培を行う。収穫したミニトマトの販売により収益を得る。 販路開拓・ブランド化を進め、付加価値を高めることで収益の向上を図るとともに、高齢者のやりがい・生きがいのさらなる醸成につなげる。 将来的には年間約10トンの収穫により収入を得ることで、農業事業に関する経費を賄える水準を目指す。また、「農の拠点」を新規・若手就農希望者の研修の場として活用することで、地域の担い手の新たな確保や高齢者と若者の交流を促進し、シルバーによる高齢農家への農作業支援の充実につなげていく。	① 農作物の収穫量	kg	8,000	6,317	【農園事業】 通年にわたりトマト栽培を実施。会員が主体となり、栽培管理、収穫、バック詰め、納入や販売促進に関するプロジェクト会議、シルバーが運営する城下町プラザでの販売などの就業機会を確保した。年間収穫量は6,317kgを見込んでおり、ひと粒あたりの重量減が影響し目標未達となっているが、糖度10以上のトマトをつくることができている。また、品質管理はできている。また、収穫量減に伴い、販売額についても目標未達となっている。 【若手就農者への研修、高齢農家農作業支援事業】 若手就農者への研修については、トマト栽培による就農を希望する農家等の視察や実践研修を多く受け入れている。また、市内で別品目の栽培・加工を計画する新規就農希望者との加工や販売に関する連携について検討している。 高齢農家農作業支援事業は、草刈業務を含む農作業支援を行っており、今後も継続実施していく。	栽培技術の向上と安定により品質の向上、収量の確保を図るとともに、安定した生産が継続して行えるよう人材育成を図っていく。また、販売についても城下町プラザでの直売のあり方の見直しや小売事業者との連携強化など販売促進を進めていく。 若手農業者の受け入れは継続実施していく。また、高齢農家農作業支援についてもニーズを把握しながら必要な活動を行っていく。	地方創生に非常に効果があった
		② 耕作・販売に従事した会員数	人	40	64			
		③ 高齢農家への支援件数	件	5	12			
		④ 農作物の販売額	円	15,637,200	7,022,379			
守れ伝統！はばたけ鶴飼！水辺が活きる地域づくりプロジェクト	伝統漁法を守る若き船頭を育成するため、木曾川観光(株)のベテラン船頭が指導員となり、舟の舵をとる責任者「とも乗り」候補生を育成する。また、若手農業者団体「犬山農芸」が、先輩指導員として、若手見習い船頭をとも乗りの助手「なか乗り」として育成する。 市観光協会と連携し、日本の伝統漁法である「木曾川うかい」の魅力が強力にPRし、外国人観光客を積極誘致。将来的には、若手船頭が、増加する外国人観光客へのおもてなし対応力を高め、インバウンド需要の取込みを図る。	① 木曾川うかい乗船者数(人)	人	23,500	19,376	【船頭育成のための委託料】 若手農業者団体「犬山農芸」のメンバーが船頭見習いとして操船技術を学ぶ訓練を受けた。当初の規定回数どおり、とも乗り、なか乗りともに225回の訓練を実施し、交付金期間終了の令和元年度末時点で3名が一人前の船頭となることができた(実際に一人前船頭として就労するのは令和2年6月1日(鶴飼開き)以降)。 木曾川うかいの乗船者数は天候不良による川止め(中止:38回)が多くあったこと、及び令和元年8月末に中核宿泊施設である名鉄犬山ホテルの閉鎖・建替えとなったことから、乗船者数が減少した。木曾川観光の売上額についても上記事由の影響を受け、減少となった。 【河川空間をもっと楽しい空間にするための、モデル事業の実施】 昨年度に引き続き、キッチンカー等を利用したマルシェ(夜市)を実施し木曾川沿いの夜のにぎわいを創出した。また、住民との協働により川沿いの竹林整備事業を行った。これらの事業により、河川空間に興味を持ち、河川空間を楽しむ人が増えることで、木曾川うかいへの関心も高まると考える。	船頭育成に関しては、3名が一人前となったものの、全体としてはさらなる増員が必要である。このため、交付金期間終了後の令和2年度以降も訓練は継続実施する予定である。 木曾川うかいの乗船者数に関しては、令和2年度以降も、名鉄犬山ホテルの閉鎖・建替えの影響が大きくなると予想されている。今後も積極的な営業活動を継続実施するとともに、鶴飼自身の魅力が向上するような取組みを工夫していきたい。 あわせて、河川空間への興味関心を高めるため、木曾川沿いにおけるマルシェや竹林整備事業を継続して実施する。	地方創生に相当程度効果があった
		② 見習い船頭の乗船回数(回)	回	225	225			
		③ 一人前の船頭となり就労している若手船頭の数(人)	人	0	0			
		④ 木曾川うかい事業による木曾川観光(株)の売上額(円)	円	79,500,000	74,647,631			
市民がまちを創る！人材活躍の場づくり事業	多様な主体がつながりを持ち、市内の様々な場所や機会とのマッチングを可能とするため、人材バンクを構築し、人的資源の情報の見える化を図る。また、今まで市民活動に直接参画することのなかった民間の施設やイベントなどの機会を、本取組みに賛同を得た場を「活躍の場」として認定していく。 さまざまな分野の人材が集まり、地域や行政の課題解決に向けた、「経営感覚の伴った事業型の活動」を生み出し、実施していくための全く新しい受け皿となる対話の場「(仮)フューチャー・セッション・スペース(FSS)」を開催し、モデル事業を企画・実施する。 企画した事業は、FSS参加者自らが実施することで、地域への貢献と事業の達成感を感じてもらう。 また、こうした取組みの様子をSNSやホームページなどで発信することで、FSSで事業を創造していく魅力を伝え、新たな参加者を募っていくとともに、寄付金などの運営資金の確保にも努める。 事業の初期段階としては、企画・実施した事業の「事業性」の検証が必要であることから、市が新設する「活躍の場づくり補助金制度」に申請するなどして一定の事業費支援を受ける。 あわせて、このような新たな取組みを将来にわたり実施していくためのルール作りの検討を住民参加型で行い、地域づくりのための理念共有を図る。	① 「(仮)フューチャー・セッション・スペース」に参加したのべ人数(人)	人	350	253	【人材バンク構築事業】 地域資源バンク構築のため、人材や資源の情報収集を実施した。民間資源の掘り起こし・活用が十分できておらず、KPIへの影響は限定的になっている。 【(仮)フューチャー・セッション・スペース(FSS)運用事業】 多様な人材が集い、交流し、企画を生み出す場として、FSSを実施した。参加人数等でKPIに大きく関連している。 【地域課題解決にかかる支援・啓発事業】 地域の課題解決支援として、モデル地区を選定し、地域住民とともに、検証・検討を実施した。元々KPIとの関連性は低く、影響は限定的である。	令和2年度より、人材バンク事業やFSS事業を集約し、今後の犬山市のまちづくりを行う「仕組み」として運営を行う拠点「協働プラザ」を創設し、事業を継続・発展させる。 また、地域の課題解決支援事業も継続し、地域自らが取り組む活動を支援する。 地方創生推進交付金は、令和元年度で終了するが、令和2年度以降も新規事業として申請中である。	地方創生に効果があった
		② 「活躍の場」として設定し、「(仮)フューチャー・セッション・スペース」で活用した商業施設のうち、売り上げの増加につながったと回答した数(件)	件	225	0			
		③ 「(仮)フューチャー・セッション・スペース」で企画・実施した事業数(本)	本	33	4			

交付対象事業の名称	事業概要	KPI				R1年度の主な取組とKPIへの影響	今後の方針	事務局評価	
		指標	単位	R1目標	R1結果(見込)				
犬山の子どもは犬山全体で育てる！女性の活躍があるまちへ！事業	①(仮)子育て家族気軽に集えるステーション整備事業 子育て家族が気軽に集えて、話せて、子どもも遊べる、情報が手軽に取得できて、就業(復職)や起業に繋がる情報や機会が用意され、子育て相談も気軽にできるようなサービスが一元化された場(仮)子育て家族気軽に集えるステーション)を整備する事業 ②情報収集及び発信力強化事業 民間事業者と連携。子育て&自分磨きに関する情報を集約し、様々な手法を用いて情報を発信。子育てママに必要な情報を適切に届ける「情報収集及び発信力強化事業」。加えて、市のシティブロモーション施策として市内外に幅広く発信。 ③犬山市全体で全力で子育てを応援！支援する人も大活躍事業 子育てや女性の活躍を応援する人・団体が目的や目標を共有することで、相乗的な効果が得られるネットワークを構築する。 ④シェアリングサービスを活用した新たな子育て&輝き支援事業 子育て預かりサービス事業者等と連携し、スマートフォンなどのICT等を活用した「シェアリング」を子育て施策に導入することで、子育てに係る負担を軽減。併せて交流会を開催し、子育て家族間の交流の機会を設定する。また、交流会を通じて子育てを支える側の人材も新たに発掘し、子育て支援活動を通じて地域課題を解決する担い手として活躍する場の開拓を応援。 ⑤子育てママが自分を高めて社会で輝くためのきっかけづくり事業	① 「(仮)子育て家族気軽に集えるステーション」の利用で情報を得た後に、就業等の講座を経て「マルシェ出店」や「カフェでのワークショップ講師」などのプチ起業に繋がった子育てママの人数	人	10	11	【子育て家族が集う場(子育て家族気軽に集えるステーション)の整備事業】 ステーション(さんにいれ)のハード整備を実施するとともに、子育て家族が気軽に集えるよう各種イベントの実施と相談体制を整えた。市が主催するイベントに積極的に活用したことに加え、「(仮)子育てと女性活躍を応援するネットワーク」(=「応援チームにこっと」)メンバーが講師にチャレンジする取組を、9月から開始したことで、KPI②を超える多くの参加となった。 【子育て&女性活躍の為の情報収集・発信力強化事業】 今年度は、子育てと女性活躍事業の内容を主に掲載した紙媒体を作成した。これにより、犬山市の子育て施策に魅力を感じてもらうとともに、応援チームにこっとへの参加を促し、KPI②、④に間接的に貢献している。 【犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク強化】 子育て世代向けの教室やイベント等を開催するとともに、これまで各課が別々に開催していた教室やイベント等についての情報を共有し、参加者同士のネットワークづくりに取り組んだ。 10月には応援チームにこっとの協力を得て、KPI④にある「子育て&誰もが活躍ミーティング」を開催。団体や個人を対象に犬山市内での子どもの豊かな育ちを応援する活動を効果的にPRするためのワークショップを含んだ交流会を実施し、活動支援を行った。 また、応援地チームにこっとでは、プチ起業や講師独立を目指し実践形式でチャレンジするママたちがステーションを活用できる仕組みを構築。2月末時点でメンバー45名、11の部活動形式で応援活動に取り組んでいる。	【子育て家族が集う場(子育て家族気軽に集えるステーション)の整備事業】 引き続き市内の子育てや女性活躍に関するイベント等の開催や情報発信を行う。 さらに令和2年からは「応援チームにこっと」により、将来的に講師として独立、教室主宰、サークル立上げを目指すママたちの、練習や活動プログラム検討の場と機会としてチャレンジ講座(講座内容としては、おやこあそび、親の学び、リフレッシュ、起業相談、働き方や男女共同参画、子育てに役立つモノやスキルのシェアサービス等)を開催し、ステーションとしての機能強化を図る。 【子育て&女性活躍の為の情報収集・発信力強化事業】 民間事業者、応援チームにこっとと連携し、子育て応援情報サイトを構築する。市内の子育て関連イベント情報などを日付や地区、子どもの対象年齢で探すことができる検索機能を導入し、子育て世代が欲する情報を、よりタイムリーかつ広域に分かりやすく発信するサイトを目指す。 【犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク強化】 応援チームにこっとのNPO法人化や、運営体制の基盤作りを行うとともに、事業計画を見る化し、自立自走の運営を目指すための賛助企業や団体を募っていく。また、地域の子育て応援者・団体・企業等を繋ぐ「子育て&誰もが活躍ミーティング」については、市と応援チームにこっとが共催し、「2020年度いぬやま子育てシェア博覧会」内で子育てミーティングを開催する。	地方創生に非常に効果があった	
		② ステーションでのイベントやミニ講座の実施に対する参加者数	人	60	348	【犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク強化】 子育て世代向けの教室やイベント等を開催するとともに、これまで各課が別々に開催していた教室やイベント等についての情報を共有し、参加者同士のネットワークづくりに取り組んだ。 10月には応援チームにこっとの協力を得て、KPI④にある「子育て&誰もが活躍ミーティング」を開催。団体や個人を対象に犬山市内での子どもの豊かな育ちを応援する活動を効果的にPRするためのワークショップを含んだ交流会を実施し、活動支援を行った。 また、応援地チームにこっとでは、プチ起業や講師独立を目指し実践形式でチャレンジするママたちがステーションを活用できる仕組みを構築。2月末時点でメンバー45名、11の部活動形式で応援活動に取り組んでいる。	【シェアリングサービスで子育て支援の補強事業本格実施】 ママ向けシェアエコ勉強会やいぬやま子育てシェア博覧会を開催した。勉強会に参加し、特技を活かして子育て家庭向けのメニューをシェアリングサービスに登録した人が3名。シェア博覧会参加者については参加登録を不要としているため、その後の動向は把握できていない。 なお、シェアエコの利用については把握していないが、シェアエコ勉強会を通じて応援チームにこっと内に「託児部」ができ、その活動登録者が10名いる。		【シェアリングサービスで子育て支援の補強事業本格実施】 左記のとおり、託児の充足と女性の活躍という観点からは、一定の成果が出ているが、次年度はよりシェアエコの利用につながるように工夫して取り組む。 ①「シェアサービスの提供&利用者に聞く！“犬山でどんなシェアができる？”」 シェアサービスに対するハードルが下がりが気軽に活用できるよう、犬山市内・周辺で実際にサービスを利用・提供した経験のある市民から体験談を聞いたり、実際の利用の流れや操作方法が体験できる機会を設ける。 ②「2020年度いぬやま子育てシェア博覧会」 今年度の成果を踏まえ、犬山の子育て応援者・団体・企業等を繋ぎ、「シェア」をキーワードに子育てと女性の活躍を応援する情報や体験を提供する。
		③ シェアリングエコノミーによる子育て支援サービスを利用した人及びママ交流会に参加した人で、のちに子育て支援者(ホスト)になった人の数	人	15	3	【子育てママの自分を高めて社会で輝くためのきっかけづくり事業】 昨年度に引き続き、カフェ等を利用して ①犬山で活躍する女性の話を聞く、②プチ起業としてマルシェ体験を行う、③社会で活躍する意欲を高める、④社会人として役立つ知識を身に付ける、ことを目的とした講座を開催した。 これらの講座の一部で、KPI②のステーションを活用したほか、KPI①にある「マルシェ出店」や「カフェでのワークショップ講師」などのプチ起業に繋がった。また、受講者がKPI④にある「犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク」へ参加した。	【子育てママの自分を高めて社会で輝くためのきっかけづくり事業】 次年度も継続して講座を開催するが、一部の講座では実施方法の変更を検討する。 ・参加者数を増やす(=新たな受講者を呼び込む)ための対象者の見直し、開催場所や募集方法、開催時間等の変更。 ・プチ起業へのつながりを強化する取組。		
		④ 「(仮)犬山全体で子育てとママの活躍を応援するネットワーク」が開催する「子育て&誰もが活躍ミーティング」に参加した人の数	人	40	40				

交付対象事業の名称	事業概要	KPI				R1年度の主な取組とKPIへの影響	今後の方針	事務局評価
		指標	単位	R1目標	R1結果(見込)			
観光を産業の柱へ!!!みんなが潤うまちづくり事業	<p>本市が有する多くの課題に対して、「勘と経験」ではなく、数値(データ)をもとに方針と戦略を整え、解決にあたる。「シェアリング」の仕組みを用いて参入のハードルを下げ、事業者を始めとして若者から高齢者まで誰もが気軽に観光産業に参画できる場と機会を作り、新たな特産品開発など、ビジネスの創出も促すことによって、将来においては観光を大きな産業に成長させる。具体的には以下の事業を実施する。</p> <p>①「多くの観光資源を持つ」ことを活かして「稼げるまち」になるために必要なデータの収集・分析及び戦略の策定</p> <p>②「(仮)地域で稼ぐ研究会」の開催とお試事業の実践</p> <p>③シェアリングエコノミーを活用して市域全体で「稼ぐまち」を目指す。</p> <p>④工芸品・特産品のバージョンアップを図る</p> <p>⑤学生が活躍できるフィールドづくり</p>	① 市の支援を受けて、新たにインターネットの体験予約サイトに登録された体験型観光メニューの利用者数(延べ人数)	人	10	51	<p>【観光の基幹産業化に向けた調査・分析事業】 今後の犬山観光のあるべき姿を検討する上で、現状を把握するため各種調査を実施した。観光施設等での対面アンケート調査、インターネットアンケート調査、位置情報データを用いた観光動向調査の3つが主な内容である。犬山観光の強み、弱み、課題を整理することで、今後の方向性を見出すことで、全てのKPIに間接的に寄与する。</p> <p>【「(仮)地域で稼ぐ研究会」の開催】 住民、事業者、まちづくり団体等、観光の現場に直面した人が集い、現在の課題を共有した上で、課題改善のために「今、自分たちができること」を考え、実践する取組を目指す会議。これまで計4回の全体会と2回の分科会を開催した。指標の一つである「お試事業」については実現していない。現在は課題を共有することができ、その上で必要な取組等を検討している段階である。</p>	<p>【(仮)観光戦略の策定及び印刷】 観光戦略会議、その専門部会による審議を経て令和2年度中に観光戦略を策定する。</p> <p>【「(仮)地域で稼ぐ研究会」の開催】 地域で稼ぐ研究会(観光まちづくり会議)は、令和2年度も引き続き実施する。現在は城下町地区の課題を中心に取組を進めており、課題改善のため、城下町地区事業者同士の交流や連携の強化を検討する予定。</p>	地方創生に非常に効果があった
		② (仮)地域で稼ぐ研究会への参加者数(延べ人数)	人	100	144	<p>【シェアリングエコノミーの普及・啓発及び活用】 市民が持つスキル等を生かした「体験型観光コンテンツ」の作成を図る取組を実施(総務省のモデル事業として実施)した結果、17件のメニューを作成し、参加者数はKPI①を超える51名となった。また、駐車場シェアについては、城下町外円部の住居にピンポイントでチラシを配布し、説明会を実施することで、登録者を増やしKPI④の増加につなげることができた。</p>	<p>【シェアリングエコノミーの普及・啓発の拡充及び活用】 シェアエコの仕組みを活用した体験型観光メニューの作成は継続し、より多くの人に認知してもらい、メニューづくりに関心をもっていただく取組を進めていく。 また、令和元年度に実施した犬山市文化史料館南館の工事及び東之宮古墳学習システムの開発を含む文化財施設やアプリケーションを活用した体験型観光メニューの作成を図る。</p>	
		③ (仮)地域で稼ぐ研究会で実施されたお試事業の数	件	1	0	<p>【学生によるまちのにぎわい創出】 金城学院大学との観光振興に係る覚書を締結し、学生ならではの若い感性による事業提案等を受けながら取り組んでいる。また、名古屋経済大学が主体となり、Google活用セミナーを開催し、希望者にはアフターフォローを実施し、Googleマップ上に施設や店舗の情報を充実させる取組を実施した。これらが直接関係するKPIは設定されていないが、事業概要にある観光を大きな産業に成長させるために必要な取組だと判断している。</p>	<p>【学生によるまちのにぎわい創出】 学生によるにぎわい創出については、市、観光協会と連携した上で、より良い事業に深化していくよう引き続き取組を進めていく。</p>	
		④ シェアリングエコノミーを活用した駐車場の利用額	円	150,000	337,510	<p>【有識者会議による検討】 観光戦略会議、その専門部会を開催し、観光戦略の内容について議論を進めている。調査・分析に学識経験者や各団体の長の視点が入ること、より実効的なものとなり、全てのKPIに間接的に寄与する。</p>	<p>【有識者会議による検討】 引き続き、観光戦略会議、その専門部会を開催し、観光戦略の内容について議論を進める。</p> <p>【特産品(みやげもの)のバージョンアップ】 観光客のニーズ調査の結果を踏まえて、犬山焼の新展開や地元材料を活かした商品、若者をターゲットとした新たな特産品(みやげもの)の開発に挑戦するための費用</p>	